

令和元年度第2回物部川地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：令和2年2月13日（木）13:30～16:00

場所：香美農林合同庁舎 1階 大会議室

出席：委員18名中、14名が出席（代理出席1名含む）

議事：（1）第4期高知県産業振興計画の全体像（案）等について

（2）第4期高知県産業振興計画における物部川地域アクションプラン（案）について

（3）産業成長戦略について

1）移住促進の取り組みについて

2）観光振興の取り組みについて

議事（1）（2）（3）について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）
議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

（1）第4期高知県産業振興計画の全体像（案）等について

意見交換等、特になし。

（2）第4期高知県産業振興計画における物部川地域アクションプラン（案）について

（No.18 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化）

（近藤委員）

商店街の各店舗の魅力が伝わる取り組みがあると良い。また、移住して商売をしたい方に物件を紹介しているが、家賃が高く断念するケースが多い。最初の何年かは優遇措置を図るなどの支援はできないか。

（経営支援課 塚本チーフ）

地域住民の利便性向上を目指して、商店街の活性化を図るための計画づくりと、策定した計画の実行を県として支援している。また、商店街の空き店舗対策として、開業の際の改装費用に対する補助や、チャレンジショップを経た開業への支援を行っているので活用してほしい。

（No.20 物部川地域における広域観光の推進）

（丸岡委員）

観光振興のために物部川地域博覧会を開催する場合、県から何らかの支援はあるのか。

（地域観光課 依光企画監）

地域博覧会の開催支援については、広域観光組織の立ち上げや機能強化等を目的に行っている。物部川地域はすでに広域観光組織（（一社）物部川DMO協議会）が活動していることや、開催にあたっては市町村からの財政的・人的支援も必要であることも踏まえ、県、市、関係者で支援の方法等について検討が必要である。

（清藤委員）

三市の市長と物部川DMO協議会で意見交換をした時に、物部川地域博覧会についての話も出

た。物部川地域の観光振興のため、県と市町村が連携してどのような支援ができるか考えてほしい。

(3) 産業成長戦略について

(移住促進の取り組みについて)

(丸岡委員)

移住者の属性は20代から40代が8割以上とあり、子連れの家族も多いかと思う。仕事の紹介も必要だが、教育環境をPRしておくことも重要ではないか。県の移住促進策において、教育をどのように考えているか。

(移住促進課 窪内チーフ)

教育移住は大事な切り口と考えており、教育に特化した相談会の実施や、県内において特徴的な学校教育をしている学校をメインとした教育移住を打ち出したりしている。また、ガイドブック「高知家で暮らす」の中で、子育てに関する各市町村の支援策も紹介している。

(丸岡委員)

教育委員会とも連携し、高知県における移住促進の戦略の中に「教育」を入れ込んでもらいたい。

(観光振興の取り組みについて)

(山本委員)

物部川地域博覧会をやるとした場合の展開の一つとして、物部川や舟入川で水車による発電を行い、その電気でイルミネーションをするなど、水資源を観光に生かすことを考えてはどうか。

(観光政策課 奥田企画監)

2月から自然&体験キャンペーンを新しいテーマで展開する予定であり、ご提案の取り組みを含めて何かできないか検討する。

(古川委員)

高知県は産業振興戦略における観光分野の位置づけについて、農林水産業や教育分野などとも連携して推進していく考えはあるのか。

(観光政策課 奥田企画監)

観光というよりは、まず高知を知っていただく視点で、食や移住につなげるなどの取り組みが想定される。他部局とも連携する方向で検討する。

(古川委員)

観光分野はいろんな接点からの広がりがあり波及効果が高い。高知らしい心の温かさなど、観光が他の分野にもつながっていくような仕組みを考えていただきたい。

(以上)